

生活衛生とつとり

編集・発行

(財)鳥取県生活衛生
営業指導センター
鳥取市松並町2丁目160番地
城北ビル(1F)109号
TEL 0857(29)8590
FAX 0857(29)8591
E-mail:tottoricenter@seiei.or.jp
URL:<https://seiei.tottori.jp/>

鳥取砂丘



活力と安心のふるさと鳥取県を目指して 鳥取県知事 平井伸治

生活衛生関係営業に携わられる皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

令和8年は「午(うま)年」です。鳥取砂丘の「馬の背」、源頼朝の愛馬「生月(いけづき)」誕生の地と伝えられる駒馳山、往時の繁栄を伝える古墳群のある馬ノ山、大山の石を削り作られた国指定重要文化財の「石馬」、日本最大規模の牛馬市が開かれた大山など、鳥取県は馬ゆかりの地です。

昨年末には過去最大の450億円の物価高対策・賃上げ環境整備も含む緊急経済対策をまとめ、県民の暮らしと産業・雇用を守るとともに、本年も人口減少や少子高齢化、不透明な国際情勢や人材不足を克服すべく、誰もが活躍し、安心して住み続けられるふるさとづくりへ突き進んでいく決意です。また、国の地域未来戦略構想に呼応し、「とつとり産業クラスター」の形成、高付加価値型ものづくり産業の育成、イノベーションの促進などを図るほか、農地の大区画化やスマート農業の実装などを進め、活力ある鳥取県を創ってまいります。

昨年10月に閉幕しました「大阪・関西万博」では、関西パビリオンの鳥取県ゾーンや「鳥取県の日」などの催事に国内外から県人口を超える58万人をお迎えし、本県の魅力に触れていただくことができました。このレガシーを活かして、万博で結ばれた「サンド・アライアンス」の縁によるヨルダンの砂展示・活用も含め、鳥取ならではの豊かな自然や温泉、マンガ、食等をアピールし、更なる交流拡大を進めてまいります。また、昨年末米子・ソウル間の山陰で初めてとなるデイリー国際便が実現したところであり、インバウンド観光の誘客も推進します。

また、年末の青森県東方沖地震で被災された方に、心からお見舞い申し上げます。本年は、甚大な被害をもたらした鳥取県中部地震の発生から10年の節目であり、その10月21日を間近に控えた10月17日・18日に「ぼうさいこくたい2026」を倉吉で開催します。鳥取県の「支え愛マップ」や「災害ケースマネジメント」等の地域の絆を活かした防災対策を全国にアピールするとともに、食パラダイスや災害関連企業等を全国に発信する好機です。各地の防災関係者と交流を深める大会開催で知見を集め、避難所の居住性向上や体育館への空調設置など、防災力の飛躍的向上を図ってまいります。併せて、国が導入する子育て負担軽減のみならず、プレコンセプションケアや不妊治療の拡充、医療的ケア児保護者のレスパイト支援など「子育て王国とつとり」のレベルアップを進めるとともに、性別に関わる無意識の不合理な役割分担等の解消に向けた県民運動をスタートすることなどにより、女性や若者にも選ばれる住みやすく働きやすいふるさとづくりに踏み込むなど、地域の安心をしっかりと築いてまいります。

本年は、5月の「日本植物園協会大会」、7月の「献血運動推進全国大会」など大型の行事が続き、更に7月には「全国知事会議」が開催されることとなりました。こうした機会をとおして、人口減少対策、環境推進活動、健康づくり、一人ひとりが大切にされる社会づくりをはじめとした本県の力強い挑戦を国内外にアピールしていきます。

生活衛生関係営業に携わられる皆様とともに、活力と安心のふるさと鳥取県を目指してチャレンジしてまいりますので、御支援、御協力賜りますようお願い申し上げます。

結びに、生活衛生関係営業に携わられる皆様の限りない御健勝と鳥取県のいやさかを心よりお祈り申し上げます。

組合だより

訪問福祉美容のゆくえ

美容業生活衛生同業組合

美容業組合では2019年2月に西部地区で「鳥取県ハートフル美容推進協議会」を発足させ、需要増加が見込まれる訪問福祉美容の供給窓口としてハートフル美容師30名の登録会員を擁して活動を継続しています。

ハートフル美容師とは、美容連合会と(一社)シルバーサービス振興会の連携により開催される研修を修了し、高齢者、障がい者向けの美容施術を提供するために必要な知識や技能を有する美容師を指します。

現在は月に2回、当組合と契約中の大山リハビリテーション病院(西伯郡伯耆町)、及び不定期で各地域の包括支援センターを介した個人宅の訪問福祉美容を実施しています。

利用者からは細やかな気遣いと安心、迅速なサービスの提供が大変好評のうえ、担当美容師の収益増加も見込まれることから、やりがいに繋がるとの声が多く寄せられています。

今後進んでいく超高齢化社会において、より上質な訪問福祉美容を求める絶対数は増えると考えられます。このニーズに対して当組合は、更に新規のハートフル美容師の養成を推進し、また、既存会員のスキルアップを目的とした実技講習会の継続によって、訪問の施設数及び回数の増加、エリア拡大に対応可能な体制づくりを進めていく計画です。

(副理事長 西尾)



共通入浴回数券の発行

公衆浴場業生活衛生同業組合



ほど経過しましたが、毎月約200人が行きつけ以外の浴場を行き来していることが分かりました。

3軒の競合店が集中していることを「強み」と捉え、今後もそのことを生かしたサービス向上を考えていきたいです。

(副理事長 小谷)



おぼれるチーズフェスの開催

飲食生活衛生同業組合



ニーランドなどのペアチケット、新米、チーズ詰め合わせ、カタログギフト、協賛店舗からの商品券や割引チケットなどが当たる大抽選会もあり大いに盛り上りました。

午後からは生憎の空模様だったにも関わらず7千人を超える多くの皆様にご来場いただき、大盛況のうちに終わりました。

(理事長 山中)

昨年10月26日、米子市湊山公園にて飲食生活衛生同業組合米子支部主催の「山陰初開催 おぼれるチーズフェス with HALLOWEEN」を開催しました。

イベントには23店舗が出店し、地元FM放送の公開収録、消防車・建設関連の「はたらくるま」の体験コーナー、ハロウィーンのコスプレした子供たちによる菓子の掴み取りなど様々なコーナーも開設しました。

また、公園ステージ上ではゲストによるダンスや歌の披露、地元のエンターテイナーやご当地アイドルのパフォーマンス、さらには東京ディズ



AIの導入は待ったなし?

旅館ホテル生活衛生同業組合

AI(人工知能)の技術進歩は、我々が思っている以上のスピードで進んでいることは間違ひありません。

例えは車の自動運転AIは、画像認識技術の向上により、人間を遥かに超える精度で複雑な交通環境をリアルタイムに認識できるようになっています。自動車メーカーが何年もかけて研究開発してきた自動運転技術をわずか1か月で習得したと聞きました。

そして宿泊業界では、深刻な人手不足が喫緊の課題となっており、この解決策としてAIやDX(デジタルトランスフォーメーション)の導入が急速に進んでいます。

具体的には、フロント業務を効率化するためのAI顔認証チェックインやセルフチェックイン機の普及により、宿泊客の待ち時間を短縮しつつスタッフの負担を大幅に軽減しています。また、顧客対応においては、これまでの電話による問い合わせ業務にかなり時間を奪われ、非効率であったが多言語対応のAIチャットボットが24時間体制で問い合わせに自動応答し、定型業務を代替することが可能になっています。

さらに、収益最大化するAIシステムが需要予測に基づいて宿泊価格をリアルタイムで最適化しています。バックヤードでは、清掃・運搬ロボットの活用も進み、これらのAI導入により、スタッフは「おもてなし」など人にしかできない、より付加価値の高いサービスに注力できる環境が整備されつつあります。

今後は組合員を対象とした宿泊業におけるAI活用に関する勉強会なども実施していく予定にしています。

(事務局 米原)

『儲かる業づくりセミナー』の開催

理容生活衛生同業組合



図る事を目的とした事業です。

業界内から有識者講師を県内外から選考し、基礎から応用までの座学や技術を組み合わせた教育プログラムを学ぶ事で組合員の技術力を大きく高め、顧客満足度の向上・リピーターの獲得・新規客の獲得が期待できるだけでなく、自店のブランド価値や成長の加速に繋げられるセミナーとなりました。

更に、県講師会によるセミナーを開催し、お客様のニーズに合わせたヘアスタイルの技術提供と提案を組合員に発信し続ける事で組織強化に繋がると共に営業支援を行っています。

(広報部長 鍬本)

理容組合では、令和7年度全国理容連合会推進事業として「儲かる業づくり(ヘアサロンの売れるメニューづくり)セミナー」を県内3地区で実施しました。

この事業は、時代にあった適正価格でのサービスの提供や生産性向上に伴う衛生水準の確保、賃上げ・雇用維持にむけてヘアサロンの売れるメニューづくりを行うもので、時代に即した技術の活用法や新サービスをテーマに実施し、サービスのブラッシュアップによる値上げと生産性の向上で理容店の経営状況の改善を



次代のクリーニング師の育成

クリーニング生活衛生同業組合



知識と技術を試されます。

実技試験のない県もある中、鳥取県ではアイロン仕上げ以外に薬品・しみ・布の判別もあり、全国でも難しい試験内容になっています。

組合では、試験に向けてのクリーニング師試験準備講習会を開催しており、組合関係者はもとより組合関係外の方たちも対象とし、幅広く新たなクリーニング師の育成に協力しています。講習会では、公衆衛生等のより専門的な講義、実技等の実践を行います。



あくまでもクリーニング師試験に合格するための学習の講習会なのですが、最初に受講者にお話しするのは、「人としての心構え・クリーニング師としての心構え」です。

生衛業全てに言えることですが、人ととの関わりがあつての営業であり、受講者が全員合格して、次代の業界の活力となつてくださることを願いながら、毎年、心を大切にした講習会を開催しています。

(事務局 徳田)

美容業向け課題解決セミナーを開催

(株)日本政策金融公庫米子支店

日本政策金融公庫米子支店は、鳥取県美容業生活衛生同業組合及び鳥取県生活衛生営業指導センターとの共催により、昨年7月に「美容業向け経営課題解決セミナー」を開催しました。日本公庫が創業支援させていただく方のうち、美容業での起業を目指す方の割合が比較的高いことから、業種を絞ることによって、より具体的な情報提供を行うことを目的としたものです。

本セミナーでは、美容業の創業を考えている方を主な対象とし、タカラベルモントで開業支援を担当している今里公彦氏を講師に迎えて、持続可能な店舗づくりに役立てていただけるよう「成長していくお店づくり」をテーマにお話をいただきました。創業者に限らず、すでに事業をされておられる方にとっても共通の課題である「顧客獲得・販売促進」をはじめ、サロンづくりにおいて押さえておくべきポイントや、顧客に支持され、成長を続けるための経営について、これまで多くの理美容事業者の開業をサポートしてきた経験をもとに、成功事例や失敗事例を交えながら、事業継続のヒントを得る機会を提供いたしました。

本セミナーには、参加申込のあった19名全員が参加し、「SNSや本などで情報や知識を得ていましたが、このようなセミナーでテーマがあつて分かりやすく学ばせて頂き、やるべき事が明確になり、より行動しやすくなりました。まずは改めてビジョン、コンセプトを考えていこうと思います。」「約40年前に創業していますが、その頃にもこのようなセミナーがあれば良かったと思いました。若い方にどんどん頑張って頂きたい」と大変好評でした。

日本公庫米子支店では、今後も鳥取県生活衛生営業指導センター、各生活衛生同業組合の皆様と連携し、生活衛生事業者の事業継続並びに創業希望者への創業支援に取り組み、地域経済の発展に貢献してまいります。



謹賀新年

本年も変わらず
よろしくお願い申し上げます。



理事長 松本正嗣

(公財)鳥取県生活衛生営業指導センター

| | |
|------------------------|-------------------------|
| 理事長 松本正嗣 (公衆浴場業組合理事長) | 副理事長 鴨河猛志 (クリーニング組合理事長) |
| 副理事長 小谷文夫 (旅館ホテル組合理事長) | 常務理事 小畠正一 (指導センター) |
| 理事 正田眞弓 (美容業組合理事長) | 理事 戸崎恭一郎 (理容組合理事長) |
| 理事 山中裕二 (飲食組合理事長) | 理事 酒井昭徳 (食肉組合理事長) |
| 監事 西尾達也 (美容業組合副理事長) | 監事 福田哲也 (クリーニング組合副理事長) |
| 事務局長 朝倉学 | 事務職員 小林真由美 |

皆様のご健勝とご繁栄を心からお祈り申しあげます。

株式会社 日本政策金融公庫

鳥取支店 国民生活事業
事業統轄 秋山修一郎



米子支店
支店長 鹿子生康利



《特別会員紹介》

株式会社プラスビッツ

◇業務内容 ホームページ制作、Webシステム開発等
〒680-0801 鳥取市松並町2丁目160番地
城北ビル(3F)308号
TEL 0857-30-3100 FAX 0857-30-3101

(有)福井印刷

◇一般企業の方から小売店・飲食店・美容室・サービス業・個人の方まで 見積無料! 少数部でも大量のご注文でもOK!
〒680-0872 鳥取市宮長21-4
TEL 0857-37-4669 FAX 0857-37-4628

～指導センター LINE公式アカウント～

指導センターのLINE公式アカウントでは、物価高騰などに対する国・県・市町村の支援策や指導センターが行う講習会や研修会などの情報を届けています。

友だち追加は、右のQRコードを読み込んでください。

